

令和 7 年 4 月 吉日

保護者の皆様
地域の皆様

船 橋 希 望 学 舎
世田谷区立希望丘小学校
校 長 野々村 剛

令和 7 年度に向けた改善策

(学校関係者評価委員会評価報告書を受けて)

昨年度 2 月に本校の学校関係者評価委員会委員長 浦五月様より、令和 6 年度の学校関係者評価結果の報告と提言を受けました。各委員の皆様から、関係者評価の分析や教育活動の参観等をふまえ、さまざまな視点からの評価や率直なご意見をいただきました。総合所見において「教職員の教育活動での取組の工夫により、前年度より評価が高い項目が多く、着実に成果を上げていると言える」とのお言葉を頂きました。

一方で地域との連携や学舎の活動については「分からない」との回答が 20%以上ありました。今後は丁寧な説明、情報発信に努め、理解を深めて頂けるよう工夫改善を行って参ります。

また、学校行事、学習環境に対する評価が高く、教職員同士の円滑なコミュニケーションを評価して頂きました。今後も教職員の結束を一層固め、保護者、地域の皆様と共に子どもたちを育てる雰囲気、体制を整えていきたいと考えています。

学校関係者評価委員会報告書より、改善すべき課題について、令和 7 年度の具体的改善策をご報告いたします。

1 教員の人材育成の推進

- ① 教員の入れ替わりに伴う、新たなチームの構築を図る。着実な引継ぎをし、積み上げてきた学校の良さを継続させる。若手教員に活躍の場を与え、組織の活性化を図り、人材育成の波を起こしていく。
- ② 採用一校目、2 年次、3 年次の若手教員の育成を一層推進する。学年主任を中心に学年団を結成し、交換授業を積極的に推進する。またトラブル、いじめの未然防止、個への支援における適切な連携・対応の仕方について、基本的なスキルを高めていけるよう組織的な OJT を推進する。
- ③ 授業力の向上を目指す。今年度は国語科指導の研究に取り組む。

2 温もりのある指導、環境づくり

アンケートの「丁寧に指導している」は児童 95%、保護者 82%と評価されているが、「先生に相談できる」では児童は 79%、保護者 82%と後一步であった。全体的には昨年度に比べ上昇した。教員の日頃の努力の成果であると言える。今後も気を緩めることなく丁寧に指導に当たっていく。体罰や暴言、不適切な指導、人権的配慮に欠ける対応等については例年通り年間 3 回の服務研修の他、随時、事例を示しながら指導を徹底していく。本校のモットーである「信頼・笑顔・温もり」を念頭に置き、児童が安心して

て学び、過ごせる環境の構築に努める。

3 情報発信の活性化

- ① 年3回の土曜参観日を含む学校公開日の設定。より多くの保護者、地域の方々に学校の様子を直接ご覧頂く場をつくる。
- ② 学校だより、学級通信、ホームページを最大限に活用し、児童の様子を分かりやすく、細目に伝えていく。
- ③ 各種お知らせ、すぐーる配信は常に先を読み、早めの対応を心掛ける。保護者にとって必要な情報が確実に行き届くように徹底する。
- ④ 学校内外を問わずチラシの配布、ポスター掲示に積極的に協力をし、PTA、町会・自治会と連携した情報発信に努める。

4 地域との連携

- ① 教職員の地域行事への積極的な参加。働き方改革の観点から負担を考慮しつつ、周知していく。
- ② 避難所運営訓練の発展。街づくりセンターと連携し、規模の拡大や内容の工夫改善を目指す。校内でも避難訓練等で話題にし、広く周知する。また訓練の様子についてホームページや全校朝会の講話等で伝え、防災への関心が高まるよう努力する。
- ③ 各町会、自治会、遊び場解放委員会主催の交流イベントにおいては家庭、地域、学校の交流の場となるように、学校をあげて最大限に協力をする。

5 船橋希望学舎の取組

小・中9年間で子どもを育てることの意義を教員が理解し、学び舎内の縦と横の連携を一層推進していく。また活動の様子や意義について、児童や保護者に丁寧に伝えていくようにする。

① 学び舎の日

年間2回、学び舎の中学校1校、小学校3校の教員が一同に集まり、授業参観を通して小中の学習指導の系統、連携、共有すべき事について足並みを揃え、協議し確認し合う場をもつ。

② 中学校訪問

6年生が中学校を訪問し、施設見学や授業体験を行う。

③ 入学式、卒業式、体育祭、文化祭の参観、見学（主に教職員）

④ 日光での交流

昨年度は船橋小、千歳台小の6年生が同じに宿舎に泊り、合同キャンプファイアーをしました。中学校に向けたよい交流ができました。

⑤ 子どもぶんか村の活動（青少年船橋地区委員会）

中学校で一緒になる3校の小学生が学校の垣根を超えて友情を深めることができます。